

第37回「にっぽんの温泉100選」全ランキング

順位	動き	昨年	温泉	地	県
1	—	1	草津	群馬	馬
2	—	2	下呂	岐阜	阜
3	—	3	道後	愛媛	媛
4	—	4	別府八湯	大分	分
5	↑	7	有馬	兵庫	庫
6	↓	5	登別	北海道	道
7	↓	6	指宿	鹿児島	島
8	—	8	箱根	神奈川	川
9	↑	10	城崎	兵庫	庫
10	↓	9	由布院	大分	分
11	—	11	黒川	熊本	本
12	—	12	和倉	石川	川
13	↑	17	熱海	静岡	岡
14	—	14	银山	山形	形
15	↑	18	奥飛騨温泉郷	岐阜	阜
16	↓	13	伊香保	群馬	馬
17	↑	20	蔵王	山形	形
18	↓	15	玉造	島根	根
19	↑	29	万座	群馬	馬
20	↓	16	乳頭温泉郷	秋田	田
21	—	21	月岡	新潟	潟
22	↓	19	十勝川	北海道	道
23	↑	24	鬼怒川・川治	栃木	木
24	↑	27	湯の川	北海道	道
25	↓	23	嬉野	佐賀	賀
26	↓	25	白浜	和歌山	山
27	↑	28	秋保	宮城	城
28	↑	42	鳴子	宮城	城
29	↑	50	長門湯本	山口	口
30	↑	38	層雲峡	北海道	道
31	↓	22	あわら	福井	井
32	↓	30	白骨	長野	野
33	↑	34	昼神	長野	野
34	↑	45	定山渓	北海道	道
35	↓	33	霧島	鹿児島	島
36	↑	40	山代	石川	川
37	↓	26	雲仙	長崎	崎
38	↑	60	平磯	北海道	道
39	↑	47	長良川	岐阜	阜
40	↑	44	花巻温泉郷	岩手	手
41	↓	32	山中	石川	川
42	↓	41	みなかみ18湯	群馬	馬
43	↓	31	湯田中	長野	野
44	↑	48	四万	群馬	馬
45	↑	46	洞爺湖	北海道	道
46	↓	39	三朝	鳥取	取
47	↓	36	上諏訪	長野	野
48	↑	52	阿寒湖	北海道	道
49	↓	37	修善寺	静岡	岡
50	↑	55	観音	静岡	岡

順位	動き	昨年	温泉	地	県
51	↓	43	酸ヶ湯	青森	森
52	↑	—	芦ノ牧	福島	島
53	↓	35	飛騨高山	岐阜	阜
54	↑	97	大雪高原	北海道	道
55	↓	54	野沢	長野	野
56	↑	58	伊東	静岡	岡
57	↑	—	つなぎ	岩手	手
58	↑	63	那須	栃木	木
59	↓	57	湯西川	栃木	木
60	↑	66	ウトロ	北海道	道
61	↓	49	宇奈月	富山	山
62	↑	98	愛山	北海道	道
63	↓	62	湯河原	神奈川	川
64	↓	51	稲取	静岡	岡
65	↑	71	高湯	福島	島
66	↓	64	石和	山梨	梨
67	↑	77	玉川	秋田	田
68	↑	85	母畑	福島	島
69	↓	68	こんぴら	香川	川
70	↓	56	皆生	鳥取	取
71	↓	59	川湯	北海道	道
72	↑	89	赤湯	山形	形
73	↓	65	湯村	兵庫	庫
74	—	74	東山	福島	島
75	↑	81	鳥羽温泉郷	三重	重
76	↑	90	磐梯熱海	福島	島
77	↓	73	かみのやま	山形	形
78	↓	53	河口湖	山梨	梨
79	↓	61	別所	長野	野
80	↓	79	山鹿・平山	熊本	本
81	↑	87	長湯	大分	分
82	↑	—	越後湯沢	新潟	潟
83	↓	69	洲本	兵庫	庫
84	↓	70	塩原	栃木	木
85	↑	86	龍神	和歌山	山
86	↓	83	日光湯元	栃木	木
87	↑	92	あつみ	山形	形
88	↑	—	松之山	新潟	潟
89	↓	76	南紀勝浦	和歌山	山
90	↑	93	おごと	滋賀	賀
91	↑	96	原鶴	福岡	岡
92	↓	84	阿蘇温泉郷	熊本	本
93	↑	100	瀬波	新潟	潟
94	↓	90	下田	静岡	岡
95	↑	—	金太郎	富山	山
96	↑	—	人吉	熊本	本
97	↑	—	蔦扉	青森	森
98	↓	94	祖谷	徳島	島
99	↑	—	浅虫	青森	森



2位の下呂温泉



3位、道後温泉の飛鳥の湯泉

第37回「にっぽんの温泉100選」が決定した11面参照。ここでは1位以下の温泉地ランキングについて傾向を見ていこう。

11〜30位で5ランク以上もなかった。上の変動を挙げると、上昇が19位の万座温泉(群馬県、同29位)、28位の鳴子温泉(宮城県、同42位)、29位の長門湯本温泉(山口県、同50位)、30位の層雲峡温泉(北海道、同38位)の4温泉地。中でも長門湯本温泉が大きく飛躍しているのが目立つ。一方、5ランク以上下降した温泉地は、一泉(北海道、同60位)の位の4温泉地。

2温泉地。今回の傾向として、30位の層雲峡温泉も含め、北海道の温泉地が上昇している。10ランク以上の下降は、37位の雲仙温泉(長崎県、同26位)、43位の湯田中温泉(新潟県、同31位)、49位の修善寺温泉(静岡県、同37位)の4温泉地。このうち、湯田中温泉は前回は14ランク、上諏訪温泉は43ランクそれぞれ上昇したことから、その揺り戻し的な動きが出たようだ。

51〜100位の20ランク以上の上昇は52位の芦ノ牧温泉(福島県、同90位)、54位の大雪高原温泉(北海道、同97位)、57位のつなぎ温泉(岩手県、同85位)、59位の鳥羽温泉郷(三重県、同81位)、62位の磐梯熱海温泉(福島県、同76位)、64位の龍神温泉(和歌山県、同86位)、66位の日光湯元温泉(栃木県、同83位)、69位のあつみ温泉(山形県、同92位)、71位の南紀勝浦温泉(和歌山県、同76位)、73位のおごと温泉(滋賀県、同93位)、75位の原鶴温泉(福岡県、同96位)、77位の阿蘇温泉郷(熊本県、同84位)、79位の瀬波温泉(新潟県、同93位)、81位の下田温泉(静岡県、同90位)、83位の金太郎温泉(富山県、同95位)、85位の人吉温泉(熊本県、同96位)、87位の蔦扉温泉(青森県、同97位)、89位の祖谷温泉(徳島県、同94位)、91位の浅虫温泉(青森県、同99位)の17温泉地が躍進している。一方、20ランク以上の下降は、前回は6温泉地あったが今年はゼロだった。

団体旅行におすすめの宿 10選

単年度の企画として、宿泊施設や温泉地に関するトレンドを把握する投票も実施している。今回は「団体旅行におすすめの宿」を投票してもらい、上位の10選を決定した。

団体旅行におすすめの宿10選は、八幡屋(福島県・母畑温泉)、ホテル櫻井(群馬県・草津温泉)、白玉の湯 華鳳(新潟県・月岡温泉)、加賀屋(石川県・和倉温泉)、ゆのくに天祥(石川県・山代温泉)、水明館(岐阜県・下呂温泉)、ひだホテルプラザ(岐阜県・飛騨高山温泉)、熱海後楽園ホテル(静岡県・熱海温泉)、杉乃井ホテル(大分県・別府温泉)、白水館(鹿児島県・指宿温泉)。

八幡屋(福島県・母畑温泉)
和風、洋風宴会や人数小に関わらず柔軟に対応可能。団体を迎えるスタッフがそろっていて対応も早い。温泉、接客、料理すべてが秀でている。施設も充実しているが何より接客が良い。
ホテル櫻井(群馬県・草津温泉)
人気の温泉地で広い浴場と選べる客室。雰囲気、料理、施設が良い。大規模でありながら団体対応で細やかなおもてなし。湯もショー、大鼓ショーなどのイベントが楽しめる。
白玉の湯 華鳳(新潟県・月岡温泉)
施設、食事、温泉、サービスとすばらしい。おもてなしが心温まる。料理が豪華。泉質もよく、受け入れ態勢もできている。広いコンベンションホールがある。
加賀屋(石川県・和倉温泉)
超大規模施設だが、接客サービス、施設、料理が素晴らしい。広いから団体で食事できる。泉質、雰囲気、おもてなしが総合的に良い。宴会場も広く貸し切り対応もできる。
ゆのくに天祥(石川県・山代温泉)
団体向けの宴会場があり、仲居の対応も良い。大浴場など施設が充実している。施設がきれいで、キャバもある。施設が大きいのに接客が良い。
水明館(岐阜県・下呂温泉)
団体にもきめ細かく対応してもらえ、あらゆる団体に対応可能。施設が大きく、温泉も大きくゆったり入浴できる。宴会場など施設が充実している。湯めぐりもでき、館内施設も充実している。
ひだホテルプラザ(岐阜県・飛騨高山温泉)
部屋数が多い、団体の受け入れに慣れている。スタッフの対応、料理が良い。規模も大きく立地や館内施設、食事が良い。スタッフの方が生き生きと仕事をしている。
熱海後楽園ホテル(静岡県・熱海温泉)
歴史ある温泉リゾート地の古きと新しさを堪能できる。海が目の前。大型施設でも料理が評判。観光地としても人気。団体ごとのニーズに柔軟に対応してくれる。部屋数、タイプが多く、食事もおいしく、観光もほどよくできる。
杉乃井ホテル(大分県・別府温泉)
いろいろな施設があり1日楽しめる。施設が充実していて温泉と共に楽しめる。サービスが良い、施設が広い。敷地が広く、食事、温泉、アクティビティなどたくさん楽しめる。
白水館(鹿児島県・指宿温泉)
指宿温泉の名物である砂蒸し風呂が施設にある。料理、温泉、客室、おもてなしすべて良い。部屋タイプ、客室数が充実していて、宴会場もそろっている。施設が広く、接客も良く、館内設備も充実している。

にっぽんの温泉100選